

JASO推奨品・推奨工法 推奨品認定番号No.012

『管用テーパ転造ねじ』 レックス工業株式会社

1. JASO推奨品・推奨工法について

技術情報委員会は、JASO推奨品・推奨工法として、レックス工業の「管用テーパ転造ねじ(加工機)」について審査し、推奨品に認定し2020年9月理事会にて承認されました。

2. 製品の概要

転造ねじは、従来の加工方法を塑性加工に変えることで鋼管の長所を引き出し、接合強度・火無し工法・工期短縮に有効で耐震強度向上と環境性に寄与できる工法です。現在までの採用実績としては、主に震災を経験した地域の官公庁関連物件や学校地域医療センター、研究施設、複合総合施設等で採用が増加しています。

3. 転造ねじの特長

①耐震性

ねじ部強度が、切削ねじの約1.5倍、ねじ谷部の肉厚は切削ねじより1ミリ厚く、機械強度（曲げ・引張り）は切削ねじの1.5倍、振動試験では、切削ねじの9倍。

②耐食性

余ねじ部にメッキ層が20~30 μ m残っているので腐食しにくい。

③環境性

切粉は切削ねじの1/10で、切削油は切削ねじの1/2に削減。

④耐久性

内面腐食を想定した耐久性は、25Aの呼び径でねじ部管厚が切削より約1ミリ厚く、転造ねじは切削ねじの1.6倍の耐久性がある。

⑤経済性

配管寿命が長くメンテナンス費用が低減でき、安心安全の配管。

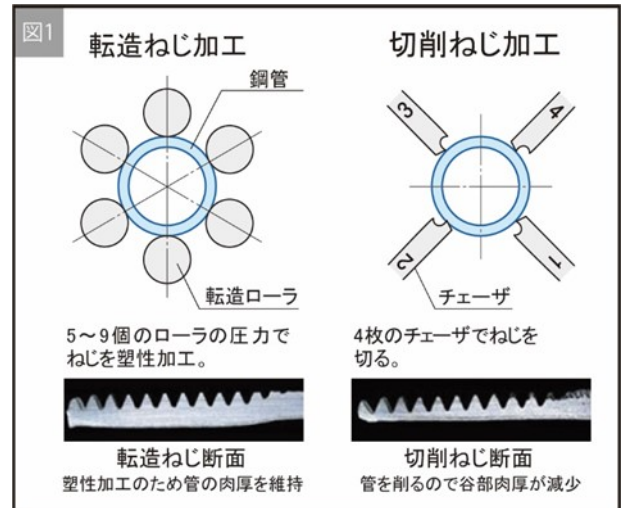


図1 転造ねじと切削ねじ加工方法の違い

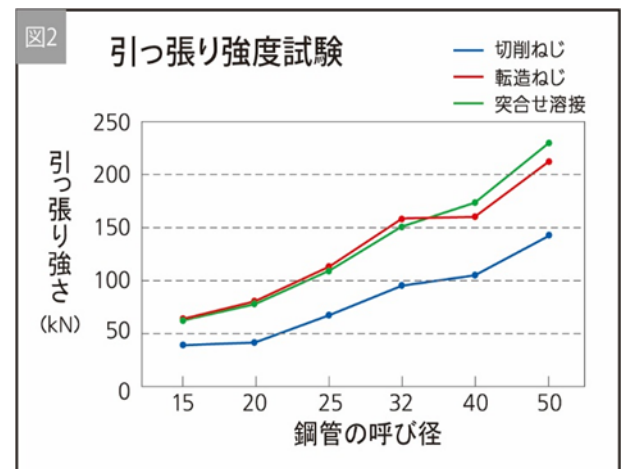


図2 引っ張り強度の違い

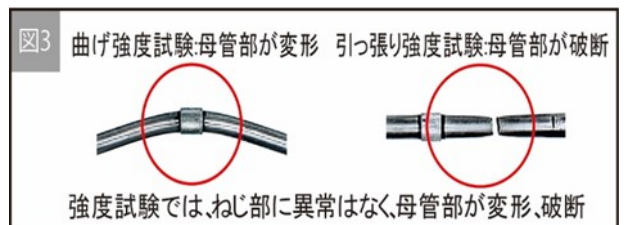


図3 曲げ強度

☆建築設備技術者協会の建築設備技術遺産第38号に認定されました。

☆レックス工業(株)のホームページで転造ねじの動画を掲載しています。

<http://www.rexind.co.jp/jp/company/>